

# 石塚硝子はどんな会社？

## 石塚硝子はいつできたの？

石塚硝子がガラスを作り始めたのは約200年前、江戸時代のことです。  
 1819年（文政2年）、創業者である石塚岩三郎が今の美濃国土田村（現在の岐阜県可児市）で吹きガラスを作ったのが石塚硝子のはじまりです。岩三郎は、長崎でビードロ（ポルトガル語のガラス）の作り方を学んだのち、土田村で良質なガラス原料であるケイ石を発見したことから、生涯この地でガラスを作りつづけました。  
 この頃の日本は江戸の後期、第11代将軍の徳川家斉が国を治め、伊能忠敬、シーボルトらが活躍した時代でした。



## 何を作っているの？

石塚硝子は、グループ会社とともにガラスびんやガラス製の食器、ペットボトルや紙パックなどの容器のほか、携帯電話や腕時計のガラスに使用される高強度ガラスなど、くらしに欠かせない身近な製品を作っています。



## 石塚硝子の工場はどこにあるの？

石塚硝子の工場は、愛知県岩倉市の本社・岩倉工場と、姫路、東京の3ヶ所にあります。これらの工場では、ガラスびんやペットボトルなどさまざまな製品を作っています。また東京や大阪、九州などの大きな都市には支店があります。



## 石塚硝子 環境への取り組み

# ガラスびん工場へようこそ!!



石塚硝子株式会社 ISHIZUKA GLASS CO.,LTD.

本社所在地 〒482-8510 愛知県岩倉市川井町1880番地  
 Tel 0587-37-2111(代表) Fax 0587-66-2668  
 Web <http://www.ishizuka.co.jp>



このパンフレットは「FSC認証紙」と、揮発性有機溶剤を含まない「VOCゼロ型インキ」を使用し、印刷はアルカリ性現像液を出さず、インプロピルアルコールなどを含まず、湿し水が不要な水なし印刷を採用しています。



ISHIZUKA  
石塚硝子株式会社

